



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し 勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子! 413名

【今回の学校だよりも、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。()】



<写真は過去の大会の様子です。>

【伝統文化に親しもう】

（百人一首大会を本年度も開催予定です）



立派だった6年生の修学旅行の熱い感動冷めやらぬままではございますが……。今回は、さらに2つの素敵なお知らせです。

本校の教務部特別活動グループで文化的行事係の、福田先生、芝山先生と、環境文化部で児童・文化係の福田先生と甲斐先生を中心に、今年度も、百人一首という伝統文化を通して、お友達と一緒にお互いを高め合いながら練習し、なかまのいいところをみつけたり、仲間と協力し、励まし合ったりする態度を養うことをめあてに、最初の記録会6月18日（水）～20（金）や最後の記録会7月中旬、学級内での大会を行う予定です。

本校で活用する教材「百人一首」は、一般社団法人の五色百人一首協会が開発された札を使用します。この「五色百人一首」の札を使用することで、日本の伝統文化に触れつつ、「学級の仲がよくなる」「ルールを守るようになる」「負けを認めることができるようになる」など、学級づくりに役立つ優れた教材として、小・中学校で広く普及されています。この協会の発表によりますと、約300万人が現在まで活用し、楽しまれたという統計の数の報告がありました。本校でも10年前後を迎えるのではないのでしょうか。なお、五色の色分け※については、低学年の子どもたちも楽しめるように、青札と黄札には、人気のある歌や覚えやすい歌が多く含まれるようになっています。音読の練習にもなりますし、ルールや礼儀などのマナーの勉強にもなります。また、札を読む練習をすればするほど、暗記力も自然とつきます。本校が地域や世間から「学力が高い」といわれる秘密や根拠の一つかもしれません。（私は教職員とならせていただいていた過去に県内の学校を10校の小学校でお仕事をさせていただきましたが、百人一首大会を学校総体で「子ども達のためにやりましょう。」と実施している学校は本校だけでございます。なお、時期的にはお正月明けでやっておりましたが、昨年度から、風邪等の罹患を考慮して、1学期に実施の予定です。）

※五色百人一首は小倉百人一首（以下、百人一首と表記）を20枚ずつ5色「青・桃・黄・緑・橙」の札に色分けした教材です。札が20枚のため、一試合を約3分間で行うことができますので、授業の隙間時間でも有効に活用することができます。また、20枚ずつ無理なく覚えることができます。小学生でも熱中するゲームです。5色百人一首を活用して取り組むことで、大脳の前頭前野を成長させる効果も期待できます。

p.s. 終わりに、川島隆太東北大学加齢医学研究所所長で株式会社 NeU 取締役 CTO でいらっしゃる川島隆太教授の、大脳「前頭前野」の研究についてふれておとさせていただきます。

『前頭前野は大脳の前方に位置し、思考、判断、計画、注意、創造、自己抑制、コミュニケーションなどの高次機能を司る重要な領域です。具体的には、以下のよう
な機能があります：①創造力や感情のコントロールを担い、人間らしさの基盤となる役割を果たしています。②ワーキングメモリーや実行機能を担当し、情報を一時的に保持し、操作する能力を持っています。③前頭前野の機能は20歳前後でピークを迎え、その後は加齢とともに低下していくことが知られています。④前頭前野の健康を保つことは、日常生活や社会生活において非常に重要です。人間の脳の最大の特徴といえるのが、「前頭前野」です。他の動物と比べて発達しており、人間らしい高次な機能のほとんどを担っている、重要な脳の部位です。

「なんだか物覚えが悪くなったなあ」「物忘れが増えた…」と感じたら、それは前頭前野の衰え。衰えは急にはじまったのではなく、20歳から少しずつ、気が付かないうちに進んでいたのが、実感として現れてきたということでしょう。衰えがどんどん進み、生活に支障が出てくるのが「認知症」というわけです。

川島先生がおっしゃった20歳のピークまで、本校の子ども達はまだあと8年間～14年間あります。百人一首大会をはじめ、文化面やスポーツ面におきましても様々な経験をこれからもさせてあげたいと願っております。……そこで次頁につづきますのは「感性育成」一助にかかわる学習の紹介です。



本校図書館でのレイニーブックフェス屋休みは、6月いっぱい13:00から絶賛開催中です。

本のソムリエ団長さん（東京在住の読書ソムリエ&スーパーバイザーで飯塚市親善大使：アンバサダー）が、全校児童に向けて（対象：全校児童2部制1～3年生⑤、4～6年生⑥）のよみきかせ会を本校体育館におきまして今週いよいよ6月19日（木）に開催いたします。お楽しみに…。



本のソムリエ・団長（だんちょう）さんは、昨年度PTA主催行事で「子ども達に読書の世界を」を講話という形でお話になりました。なんと、今年度は本校の全校児童の子ども達対象の講話をしていただけるというコンセプトで今週6月19日（木曜日）来校されます。(^-)/☆

ご存知とは思いますが、「団長さん」についてのキャリアや肩書についてご紹介いたします。

- ・ロックバンド「一里塚華劇団」のリーダー「団長」は芸名でもあられます。
- ・NPO読書普及協会の専任講師
- ・文部科学省「青少年のためのオーサービジット」講師
- ・シブヤ駅前☆読書大学の校長先生
- ・福岡県飯塚市小中学校読書活動スーパーバイザー
- ・日本学びティナー協会 名誉会長さん・・・などです。



以下は団長さんのオフィシャルHPからの引用になりますが、本の魅力をカラフルに楽しく伝える読書プリンスであり、海外でも幅広く活躍する注目のロックスターでありながら、年間1,000冊以上の読書を楽しむ異色の本のソムリエ。幼少時から読書を趣味とし、本とともに育つ。「1冊の本との出会いで人生は変わる！」との想いで、文学から、ビジネス書、専門書、洋書、絵本に至るまでジャンルを問わずに日々多読し、わかりやすく紹介。本への深い愛情と豊富な知識、華やかなキャラが人気を集め、メディア出演、講演、学校授業、書籍、書評執筆などさまざまな方面で活躍されています。特に最近、小・中学校から読書授業の依頼が急増。団長さん独特の読みきかせを始めとするユニークな授業を通じて読書と親しむキッカケづくり、日本語教育に情熱を注いでいらっしゃいます。・・・とあります。

さあ、今年はどんなお話が聴けるのが楽しみです。私個人としては、全世界に通じていらっしゃる団長さんが、今の社会情勢をどう感じていらっしゃるのかを知りたいですし、私たち教育者をはじめ、子ども達へのメッセージをいただけたらとてもうれしいですし、とても励みになります。どうか道中お気を付けていらしてほしいです。()

（写真はHPから許可をいただいて転載したものと、前回お見えになられたときのお写真です。）

